

平成25年度第1回北海道ブロック協議会  
第1回北海道代協理事会  
議事録

平成25年4月24日(水)13:00~17:00  
於:ホテルライフオート札幌 4F グララーベ

出席者

|       |        |    |    |       |     |        |       |    |
|-------|--------|----|----|-------|-----|--------|-------|----|
| 日代協理事 | 山口 史朗  | 札幌 | 理事 | 田中 幹  | 札幌  | 監事     | 木下 裕章 | 小樽 |
| 会長    | 山崎 善仁  | 札幌 | 理事 | 廣瀬 禎  | 室蘭  | 監事     | 本村 宏文 | 千歳 |
| 副会長   | 羽山 和広  | 帯広 | 理事 | 佐藤 聖  | 苫小牧 | 教育委員長  | 寺本 朋史 | 札幌 |
| 副会長   | 松浦 則雄  | 函館 | 理事 | 水嶋 章司 | 千歳  | 広報委員長  | 見上 峰夫 | 札幌 |
| 副会長   | 山吉 行雄  | 釧路 | 理事 | 小野 修  | 函館  | 事業委員長  | 町野 泰明 | 札幌 |
| 副会長   | 佐々木 雅之 | 札幌 | 理事 | 大橋 敏  | 函館  | 政連政策委員 | 梅基 伸男 | 札幌 |
| 専務理事  | 赤山 登   | 札幌 | 理事 | 吉田 和彦 | 釧路  | オブザーバー | 澤田 憲孝 | 帯広 |
| 常務理事  | 富谷 則文  | 札幌 | 理事 | 大高 喜弘 | 釧路  | 事務局    | 藤田 和代 |    |
| 理事    | 伊藤 隆人  | 札幌 | 理事 | 深井 弘美 | 帯広  |        |       |    |

司会 専務理事 赤山 登

**1. 開会の辞(羽山和広)**

**2. 北海道代協会長挨拶(山崎善仁)**

会長就任後約1年が経ち、北海道代協の活動成果（特に会員増強）が各支部活動のおかげをもちまして、顕著に現れております。心より感謝いたします。本日は活発な議事への意見・審議をお願いいたします。

**3. 日本代協常任理事挨拶(山口史朗)**

木内氏が病欠、高梨氏が本部広報委員会出席のため、挨拶させていただきます。まずは、会員増強においてかつてない成果に対し、心よりお礼申し上げます。この増強目標達成は今後の代協運営面（会費等）に対し大きく貢献されたばかりでなく、日本代協・他地区代協へも大きな影響を与えました。今後は、北海道は日本代協への影響力も大きなものとなりました。今年度につきましても新加入会員のグリップとますますの増強に取り組んでいただきたいと思います。

**4. 倫理綱領の朗読(大高喜弘)**

**5. 議長選出**

議長には羽山和広氏(副会長)が指名され、承認を得た。

## 6. 議事録署名人の選出

議事録署名人に田中幹(札幌)、伊藤隆人(札幌)各氏が指名され、了承を得た。

## 7. 会員増強のお礼(山崎善仁)

資料P 3～6が北海道の会員増強に関する詳細状況です。P 11～12が全国状況ですが、全国にて21会員の前年増であり、北海道の39会員増は大きな力となりました。これに対し、執行部より特別に感謝と敬意を表し、各支部にお礼を贈呈させていただきます。

伊藤組織委員長からも感謝のことばがあり、以下の達成要因を述べられた。

- ・損保会社が非常に増強活動に対し協力的であった。(執行部が各社代協窓口を頻りに訪問し、各種会社主催の会議等へも積極的に参加させてもらい、代理店賠償の重要性等での入会を募った。)
- ・代協の認知度を上げる活動に取り組んだ。
- ・つれてき隊が各人の職務を全うした。

30会員を新規加入させた札幌支部支部長田中幹氏が代表で、今年度への同様の取組み決意と保険会社との更なるパイプ強化の意を述べられた。

## 8. 議事

### [ I ] 報告事項

#### (1) 日本代協理事会報告(山口史朗)

資料P 7～10に日本代協ニュースに理事会報告が載っていますのでご一読願います。以下それ以外の事項に触れます。

・来店型ショップ「保険の窓口」は税務申告漏れの責任を取り社長交代に及んだが、いまだ上場を目指しております。このビジネスモデルは来店方のため各種コスト(宣伝費・事務所代等)が大きくかかり、その割に顧客グリップ力はたいしたことはなく、将来的に多くは生き残らないと思われまふ。3・11に於いてもプロ代理店の底力を会社も認識し、将来ビジョンとしてプロ代理店制度を強く意識し始めています。我々としても資質の強化、組織率強化をし、組織固めをしていく方針です。

#### (2) 日本代協臨時総会報告(山崎善仁)

主要審議点等は添付代協ニュースをご参照下さい。

#### (3) 日本代協委員会報告

##### ( I ) 組織委員会(伊藤隆人)

4月18日第1回組織委員会開催済。平成24年度末会員数は11,491店で、入会数644店退会数623店の状況であった。退会者のうち200店は防止が可能であったものと考えられ、ここを改善していかなければ会員総数は増加しないと判断し、取り組んでいきます。

##### ( II ) 企画環境委員会(吉田善仁)

「わかりやすい募集文章への取組について」を資料としてお配りしております。損保各社が近い将来同じ重要事項説明書を使用することとなりそうです。

(Ⅲ) 教育委員会(山崎善仁)

P 14～17に教育関連の報告書を載せてあります。特に認定保険代理士更新研修および試験の申請未完了の方々へP 15のF A Xが入っているはずですので、締め切りに充分ご注意ください。

(Ⅳ) ビジョン委員会(佐々木雅之)

4月12日に配布いたしました報告書の内容にて第23回ビジョン委員会が開催されております。

(Ⅴ) C S R委員会(見上峰夫)

本日、日本代協C S R委員会開催のため、担当者がそちらに出席しております。

(4) 各支部活動報告(各支部長、添付資料P 33～41参照)以下、特記事項のみ記載。

まず赤山専務より、前回理事会での諮問を受け開催した正副会長会議の内容(P 21)および決定事項が説明される。

札幌一会員全員参加型を目指した活動に取組んできた。(ランチミーティング・セミナー等)

千歳一現在、退会希望をもっている会員が多いので、その防止に今後力を注ぎたい。

(5) 各委員会報告(添付資料P 22～30を参照)以下、特記事項のみ記載。

- ・ 組織委員会報告後、日本代協山口組織委員長より以下の発言がある。前年度せっかく多数の新入会員があったので、今年度はその方々を「つれてき隊隊員」がカウンセラー役となり、しっかりフォローするよう願います。

## [Ⅱ] 審議事項

(1) 平成24年度事業報告

資料P32～P63に掲載。以下、特記事項のみ記載。

○北海道代協総括(山崎善仁)

資料の他に総括的文章を総会時には作成し報告するように致します。

○各支部報告・各委員会報告

山口氏より苫小牧、千歳支部へ質疑あり一幹事会出席者数をみると過半数に至っていない時もあるように思われるがそこはどうか。両支部長返答一支部内決議事項があるときは定数に達しているので規定上は問題はありません。ただし、指摘のとおり出席者の少ないことも多々あるので、今年度は改善をしたい。

\*議長採択をとり承認可決

(2) 平成24年度決算報告及び監査報告(富谷則文・木下裕章)

添付資料P 64～66の収支決算書・貸借対照表・財産目録により詳細説明。

木下監事が諸帳簿、各証票監査の結果、収支決算書、貸借対照表が適正であることを代表にて報告する。

\*議長採択をとり承認可決

(3) 平成 25 年度事業計画 (案) (山崎善仁)

北海道代協方針が以下の通り示される。

基本方針 1—社会貢献活動とその確立

(CSR 広報委員会の活用と継続的な社会貢献)

基本方針 2—会員とのコミュニケーション

(新入会員オリエンテーションの 100% 実施とその他会員とのコミュニケーションを通じて、代協活動の活性化とみえる化へ。退会防止)

基本方針 3—会員の資質の向上

(損害保険の社会的意義と地域社会における損害保険代理店の存在価値の確認、セミナー等の開催、情報交換など)

基本方針 4—組織の安定運営

(組織の効率運営、会費の統一、役割の確立、運営透明性の確保、)

基本方針 5—業界の健全な発展

(損害保険協会、保険会社、消費者団体との友好的な関係の維持および共同活動など)

基本方針 6—さらなる会員増強

各委員会の事業計画(案)は資料 P 67.68 を参照し、詳細説明される。

\*議長採択をとり承認可決

(4) 平成 25 年度予算 (案) (富谷則文)

添付資料 P 69 の予算額表により説明。以下、特記事項のみ記載。

- ・ 収入 (会員会費) —正会員 541 店、一般会員 10 名にて予算組
- ・ 収入 (割増会費) —事業収入 220 万円、入会金 10 万円を予定
- ・ 収入 (ブロック対策費) —当年人材育成セミナー開催での本部よりの上乗せ支給あり
- ・ 支出 (教育研修費) —当年人材育成セミナー開催のため、50 万円上乗せ
- ・ 支出 (雑費) —会員増強御礼で 14 万円、事務所パソコン 20 万円を予定

\*議長採択をとり承認可決

(5) その他

①事業収益の件(富谷則文)

前回理事会にて質疑のあった事業収益課税問題につき執行部は現時点で以下の判断をしており、これについて審議いただきたい。

<4月22日北海道代協担当の池戸会計事務所所長と面談し、現在の収益につき課税処理していない点につき審議する。会計事務所見解は割増会費として支部へ全額戻し会務に使用している。また、特別法人の税理士会においても同様の処理を行い、現時点では全国的に同様の処理での税務署よりのクレームは認知していない。>

＜札幌北税務署法人担当官と面談し、概要を説明、意見を伺った結果、現時点の会費に占める特別会費の割合と額であれば現在は問題なしとの意向を受け取る。ただし、将来的に額が増加すれば別の判断も出てくる可能性もある。＞

よって、執行部としてはしばらくは現在の処理方法を続け、額が増大した時点（現在の2倍程度）で別法人の設立等も視野に入れている。

\*議長採決をとり**承認可決**

②口座振替の件(富谷則文)

口座振替での北海道代協よりの会員への会費請求推進については理事会決定済ですが、帯広、苫小牧、旭川、小樽が現在未推進の状況ですので、今年度10月引下げに間に合うよう、支部にて再度取り組み願いたい。

\*議長採決をとり**承認可決**

③CSR広報委員会名称の件(見上峰夫)

CSRと広報の今年度よりの合併においての以後の名称を「CSR広報委員会」とする審議。

\*議長採決をとり**承認可決**

④会費検討委員会設立の件(佐々木雅之)

1月19日開催正副会長会議にて下記のとおり原案しましたので、審議願います。

- ・平成27年度よりの統一を目処とし、2年間の準備・検討期間を設ける。
- ・委員長は羽山和広副会長が務め、佐々木雅之副会長が補佐となる。
- ・各支部長および正副会長会議メンバーを構成員とする。

\*議長採決をとり**承認可決**

⑤パソコン購入について(富谷則文)

現在事務局使用のパソコンが故障気味のため、新規購入の必要があり、4分の3を北海道代協負担、4分の1を札幌支部負担にて考えているがいかがなものか。

- ・今はリースが安くてよいがどうかとの意見あり

\*議長採決をとり、購入かリースどちらが良いか事務局にて検証し入れ替えることにて**承認可決**

### [Ⅲ]その他

1 セミナー開催について(山崎善仁)

- ・今年度6月の総会時にセミナーを開催（講師は株式会社ブレインマークス代表取締役安東邦彦氏）予定ですが審議いただきたい。

\*開催にて承認

②新入会員フォローアップについて(赤山登)

- ・新入会員のフォローとして「つれてき隊」隊員がそのまま「まもり隊」となり、各自入会を推進した会員を担当・フォロー役となることを提案。

\*承認

③人材育成セミナー開催について(山崎善仁)

・おおよその時期、参加対象、場所、負担額について決めておきたいので、審議願います。

＊意見集約の後、以下に決定

時期—9月26・27予定、場所—山溪、対象—各支部の幹部候補者、本部支給額—各支部  
規定数までの交通費を負担予定。

④その他(山崎善仁)

- ・6月15日開催のリングの会に岡部会長が講師参加しますのでお知らせ致します。
- ・今年度の活動の一環として、各支部総会にできるだけ北海道代協執行部より出向きたいと考えていますので、総会日程を報告下さい。

## 9. 監事講評(木下裕章)

本日は25年度第1回目の会議でありました。私事ですが、妻、娘は所属する婦人団体等の職務を無報酬にて毎日一生懸命務めているのをみると職業団体会員である我々が活動に務めるのは当たり前のことであり、原点にもどった所属会員のための活動に励んでいきたい思いであります。各委員会・各支部が事業（案）に沿った活発な取り組みをお願い致します。

## 10. 閉会の辞(佐々木雅之)

議事録作成者 富 谷 則 文

議事録署名人 田 中 幹

議事録署名人 伊 藤 隆 人